

# 西大和学園報

第44号  
2014.5.1  
発行学 園  
西大和 印刷  
東洋印刷(株)

## ごあいさつ

学校法人西大和学園理事長



田野瀬 太樹

今年の入学式では、日本人で初めて国際宇宙ステーションの船長になった宇宙飛行士の若田光一さんを例にとり、なりたい自分に向かって努力を続けることの大切さを新入生に語りました。新入生をはじめすべての生徒が今年度も学校生活を通じて存分に成長してくれることを期待しています。

中学校では初めて女子を迎え、高度な女子教育を求める社会の要請に応えることができました。高校は文部科学省よりスーパーグローバルハイスクールに指定され、グローバル人材を育てる学校としてますます期待が高まっています。さらには、かねてより設置準備を進めてまいりました西大和大学が大阪府吹田市においていよいよ開学いたしました。まずは医療、福祉、教育分野の人材育成で金字塔を打ちたてるべく、今後努力してまいります。

様々な改革や成長をとげつつ新たなスタートした西大和学園に對しまして、一層ご注目いただき、引き続きご

支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 地球規模の課題に挑戦できる グローバル・リーダーの育成



上村 佳永

学園長・中学校長

春、新たに開設した女子中等部の第一期生を含め、希望に胸を膨らませた新入生を迎えて、学校全体が活気に満ち溢れた新年度がスタートできましたことは、大変嬉しく、感無量であります。

本校としても、生徒諸君が将来の日本を支え、世界を舞台に国際貢献できるグローバル・リーダーとして立派に成長して、くれることを願ってやみません。

今後、世界的な競争と共生が進む国際社会において、日本人としてのアイデンティティーを持ち、国際的な視野に立って培われる教養と専門性、異なる文化や歴史、価値観等の多様性を受け入れた上で、友好関係を構築するためのコミュニケーション能力と協調性、新しい価値を創造する能力、国際社会への貢献意識を育むための教育の充実

を図る必要性を強く感じております。

そこで、今年度から文部科学省の研究開発校「スーパーグローバルハイスクール（以下SGH）」の指定を受け、先進的なグローバル人材養成プログラムとして、より実践的な英語力を身につけるために、従来の海外研修プログラムや米国留学、「国際理解」や「多統」の授業に加えて、英語を活用した実技教科のイマージョン授業を導入するとともに、東京大学や京都大学と連携して、地球規模の課題解決に挑戦する探究型学習プログラム等を通じて、グローバル・リーダーの育成に全校体制で取り組むことにいたしました。一人でも多くの生徒諸君が、当SGHプログラムに積極的に参加し、飛躍的な教育効果を得てくれることを大いに期待いたしております。保護者の皆様におかれましては、今後とも引き続き、本校教育に深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 可能性に挑戦する

高等学校長



福井 士郎

多くの希望を胸に入學してきた新入生を迎えることは本校教職員の大きな喜びであり、一人一人の生徒がその能力を存分に発揮し、充実した高校生活を送ることを心から願っています。放課後の課

外活動は活発で、たくさんのクラブ活動だけでなく、スーパーサイエンスハイスクールや模擬国連、東大ライブ講義、などの知的な刺激に溢れています。それに加えて今年からスーパーグローバルハイスクールの指定も受け、まさに西大和学園が目指す「世界で活躍できる、指導力や発信力のある、将来の有能なリーダーを育てる」という目標にまた一歩近づいたと思っております。

高校は自分の生き方を決める三年間と言っても過言ではありません。ですから小学校や中学校とは比較にならないほど重要な時期であります。

西大和学園は日本一の学校を目指しています。生徒は最難関の大学に合格できる学力をつけるだけでなく、様々なことに積極的に取り組み、自分を磨き鍛錬してほしい。困難だと思われるようなことにも是非チャレンジし、その過程で努力は必ず報われるということを体得してほしいのです。努力は自信につながり、自信は人に積極性を与え、困難に遭遇してもひるまない勇氣と粘り強い根性を与えます。まさに難問が山積する21世紀の世界が待望する、高い知性と優しさ、強い意志を持った世界で活躍する人物を輩出する学校を目指しています。

また、教育は教職員と生徒だけで効果が上がるのではなく保護者の協力が不可欠であります。生徒の未来を輝かしいものにするため、本校教職員は最善を尽くすことをお誓いすると同時に保護者の皆様の心よりのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 東大・京大・国公立大 医学部に「133名」合格

進 学  
統 括

## 東大22名・京大74名・ 国立医学部医学科43名

平成26年度の大学入試における各大学の合格者数については、以下のようになりました。東京大学22名、京都大学74名、国立大学合格者総数は239名でした。東京大学・京都大学の現役合格者数は58名となり、国立大学医学部医学科合格者は、京都大学(6名)、大阪大学をはじめとして、東北大学、山形大学(2名)、富山大学、福井大学、山梨大学、三重大学、滋賀医科、神戸大(3名)、鳥取大、島根大(2名)、香川大(2名)、高知大、宮崎大、名古屋市立大、京都府立医科(2名)、大阪市大(4名)、奈良県立医科大(9名)、和歌山県立医大(2名)の43名となります。また主要大学の現役率

は、東京大学77.3%、京都大学55.4%、大阪大学43.8%、神戸大学70.6%となっています。本校の大半の生徒は国立大学志望ですが、難関私立大学においても早稲田大学23名、慶應義塾大学20名が合格し、難関私立大学医学部医学科には、慶應義塾大学、東京慈恵会医科大学(2名)、大阪医科大学(7名)、関西医科大学(3名)、近畿大(4名)、兵庫医科大学(5名)、産業医科等多数合格しています。

## 平成26年度入試を 振り返って

平成26年度の大学入試センター試験は、1月18日・19日の両日で実施され、志願者数は、56万672人と昨年比べて12,672人減りました。志願者全体に占める現役生の割合は79.1%

となり前年度より減少しました。大学入試センター試験5教科7科目型の平均点(900点満点)は、文科系は、昨年より2点アップ、理科系は、昨年より13点のアップとなり昨年より易化しました。

が、前年度に平均点が大幅ダウンしたため、理系でも2012年度の平均点には戻りませんでした。また教科別の平均点をみると、数学I・Aが10.88点アップし、また地歴のB科目(地理Bが7.8点、倫理・政経が6.1点、世界史Bが5.95点)がアップしました。逆にダウンしたのは、地学が18.46点、生物Iが8.06点となりました。そして特に国語がこれまでのセンター試験でも最も平均点が低くなり98.67点(200点満点)でした。

国立大学の志願者数は、約48万5千人となり、確定志願倍率は全体で4.8倍で、昨年並みの倍率となりました。景気回復の兆しが見え始めたというも

の、受験生の安全志向、地元志向は引き続き根強く、また来年度から新課程入試となることもあって、全体的に安全志向の受験となったようです。

## 平成27年度入試について

平成27年度の大学入試センター試験は、平成27年1月17日(土)・18日(日)に実施される予定です。この年から数学と理科については新課程に対応した試験問題が出題されます(ただし平成27年度は経過措置として旧課程に対応した問題も出題される)。センター試験で注意すべきことは、「センター試験の出題形式」に慣れるだけでなく、「センター試験の多量の問題数」にも十分対応できるようにしておくことです。国立大学の2次試験は、

2月25日からの前期日程試験、3月12日以降の後期日程試験に分かれて実施され、公立大学の一部で、3月8日以降に中期日程試験が実施されます。平成27年度の国公立大学の2次試験対策については、「学問に王道なし」で、日頃より学校の授業を中心に予習・復習を欠かさず行って基礎学力を身につけ、早めに不得意科目を克服し、教科バランスをとることが肝心です。また高校2年から3年にかけて、いかに早い時期に理科や社会まで完成できるかどうかが合否の大きな分かれ目となります。前年の倍率等の入試結果のデータや入試科目の増減といった情報を気にしすぎると、かえって激戦に巻き込まれる可能性があります。「自分が将来やりたいこと」を最優先し、自分を信じて努力し、「絶対合格してみせる！」という強い信念を持つことが大切です。



### 東大・京大合格者数ランキング

2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		2014年度	
灘	137	灘	144	灘	132	灘	146	灘	133
東大寺学園	108	洛南	113	東大寺学園	112	西大和学園	111	洛南	103
西大和学園	105	西大和学園	110	洛南	102	洛南	105	西大和学園	96
甲陽学院	100	東大寺学園	108	甲陽学院	92	東大寺学園	94	東大寺学園	89
洛南	98	甲陽学院	87	西大和学園	82	大阪星光	71	大阪星光	79
旭丘	65	洛星	75	大阪星光	73	北野	68	北野	79
洛星	59	大阪星光	64	堀川	66	大阪桐蔭	67	甲陽学院	78
東海	57	膳所	64	旭丘	65	洛星	65	洛星	75
堀川	54	天王寺	62	洛星	61	旭丘	65	東海	60
大阪星光	53	北野	54	北野	59	甲陽学院	62	堀川	55
智辯和歌山	47	旭丘	50	膳所	56	天王寺	58	旭丘	54
膳所	46	大阪桐蔭	49	天王寺	55	堀川	53	膳所	53
北野	45	岡山白陵	48	東海	52	東海	50	清風南海	52
奈良学園	43	堀川	47	大阪桐蔭	51	膳所	49	天王寺	50
大阪桐蔭	39	東海	47	岡山白陵	39	岡山白陵	39	大阪桐蔭	49
岡山白陵	39	智辯和歌山	43	清風南海	35	奈良学園	34	姫路西	36
清風南海	38	清風南海	41	奈良学園	34	清風南海	32	六甲	34
天王寺	34	愛光	33	六甲	31	六甲	26	岡山白陵	33
岡山白陵	33	高槻	29	智辯和歌山	30	高槻	25	奈良学園	28
愛光	32	奈良学園	28	愛光	29	愛光	25	愛光	25

週刊サンデー毎日の記事より作成

# 学校行事

## ◆中1 ファームステイ

中学1年生の恒例行事である「ファームステイ」を7月12日から3日間、滋賀県の日野町・東近江市で行いました。「お客様として農業体験をしに行く」のではなく「家族の一員として家業の手伝いを通して交流をしに行く」という目的のもと、普段の生活では体験できないような暮らしをしました。



初日、緊張のなか「対面式」を行い、ホストファミリーの方々と初対面です。その後は各ホストファミリーのご家庭に入り、滋賀に伝わる遊び「カロム」をしたり、語らいの場を設けてもらったりと、親睦を深めました。2日目からは、いよいよここでしかできない様々な体験がスタートします。あるご家庭では農業体験を、またあるご家庭では流しソーパー作りを、さらにあるご家庭では鮎ずし作りを……と、初めての体験に生徒たちの顔も生き生きとし



ていました。そして、あっという間に最終日。最後はホストファミリーの方々と握手をしてお別れをしました。忘れられない思い出をたくさん作ることでできた「ファームステイ」だったことでしょう。

## ◆中2 クエストエデュケーションプログラム

中学2年生は、キャリア教育の一環として「クエストエデュケーションプログラム」に1年を通して取り組みました。「クエスト」と



は、現代社会において大きな役割を果たす企業の数々から「ミッション」と呼ばれる特別な課題を与えられ、最終的にはその課題解決に向けたオリジナル企画のプレゼンテーションを行うという一連の流れを核とした、生徒主体で展開する学習活動です。総まとめであるプレゼンテーションへと至る過程には、教室の中で話し合いや、発表の練習はもちろんのこと、街頭でのアンケート調査や会社訪問など学校の外へ飛び出している調査活動にも挑戦しました。その中で、生徒たちは普段の科学学習とはひと味違う学びを体験することが出来たように思います。生徒たちのプレゼンテーションは、

各企業担当者によって全て選考にかけられ、今年度は、クレディセゾンより与えられたミッションに取り組んだ「CRASIA(クラジア)」が東京で行われた全国規模の大会「クエストカップ2014」へ出場しました。惜しくも入賞は逃しましたが、高校生ばかりの出場者の中で堂々としたプレゼンテーションを見せてくれました。

## ◆中学3年 体験学習



これまで、中学1年、中学2年と日本の文化や歴史を重点的に学んできましたが、中学3年生になるとYA(ヤング・アメリカンズ)やアメリカ語学研修旅行などの国際交流を通して、海の向こうの文化や歴史に目を向け、これからのグローバルな時代にも対応できるような経験が出来ました。

しかし、YAにしてもアメリカ語学研修旅行にしても初日や2日目は、いつものような自分自身をさらけ出し、相手とコミュニケーションを上手に取ることが出来ませんでした。

そんな、ぎくしゃくした雰囲気を開けてきたのも、これまで身に付けてきたリスニング力やスピーキング力、ま

た何と言っても人間力で日に日に、相手との距離も近づいていきました。最後の別れの日には涙が止まらないぐらいに打ち解けていました。

## ◆マラソン大会

今年もこの季節がやってまいりました。毎年2月の下旬に行われているマラソン大会。今年は、2月13日に行われました。

日ごろの、体育の授業で鍛錬してきた成果を長居陸上競技場という、国際大会などでも使用される会場。生徒にとってもとても良い経験だと思えます。



マラソンとは、自分との勝負です。自分自身の心と体を、限界ギリギリまで追い込んで、耐えて、ゴールを目指す。このゴールした時の達成感は、自分自身の限界を超えた分だけ、大きなものとなって自分に返ってきます。これは、どこか受験勉強と似ている部分でもあります。高校3年生の受験に向けて、中学校1年生から、様々な経験を通して、心身ともに鍛え上げる。そし

て、志望大学合格というゴールにたどり着き、達成感を味わってほしいと思います。

#### ◆高一 海外探究旅行

平成26年3月5日から9日まで高校生1年生はトルコ・シガポール・ベトナムの3行程に分かれ、海外探求旅行へと出発しました。

トルコ班はテオドシウスの城壁・ブルームスク・アヤソフィア博物館やトプカプ宮殿などの名所を巡り、その壮大さや華麗な景観に魅了され、イスタンブールの学校交流やベリーダンス鑑賞を通じて、異国の文化を身近に感じました。

シガポール・マレーシア班では、現地駐在員の日本人の方々から海外で働くことに関する貴重な話を聞かせていただき、ジョホールバル学校交流、マレー文化村体験によって、現地の文化を体感することができました。特に、カンボン村の家庭訪問では、マレーの民族衣装を身にまとい、実際に右手だけを使って食事をするという経験もしました。

ベトナム・カンボジア班は、アンコール遺跡を巡り、アンコールワットから



の朝日を鑑賞しました。その情景の美しさは長く記憶に残るでしょう。また、ホーチミンでは学校交流や、日系企業合併プロジェクトの視察を行いました。

どの行程も訪問先の国の文化を知り、視野を広げるよい機会となりました。



#### 寄贈していただきました。

#### ◆剣道の防具40セット

14期 育友会会長・西道会会長

藤岡 繁 壽 様

#### ◆二宮金次郎像

4期卒業生の保護者

高田 親子 様



4月5日(土)高校入学式に先立ち、除幕式が行われました。

## 2014年度 西大和学園中学・女子中等部 一期生が入学!

4月6日(日)第27回の西大和学園中学校入学式が挙行され、246名の新生を迎えました。当日はあいにくの雨模様となってしまいました。が、校門前や入学式の看板の前で、真新しい制服に身を包んだ新生が保護者と一緒に笑顔で記念撮影をしている姿はすっかり恒例となりました。そして、今年は中学校に初めて女子が入学しました。男子が4クラス入場した後、注目の女子中等部一期生が入場。

上村佳永校長は式辞の中で、入学へのお祝いの言葉として、坂本竜馬の言葉「世に生を得るは、事を成すにあり」を引用し、「人生の目的は、出世して、事業や学業で成功して、財産や地位・名声を手に入れることは限らない。事を成すとは、夢や目標を実現すること。高い志をもって人生で何かを成し遂げること、人生に意味を持たせることが大切だ。」と新生を激励。

最後に、男子中等部、女子中等部の代表が力強く誓いの言葉を述べました。これからの学校生活への期待や決心が伝わってきました。

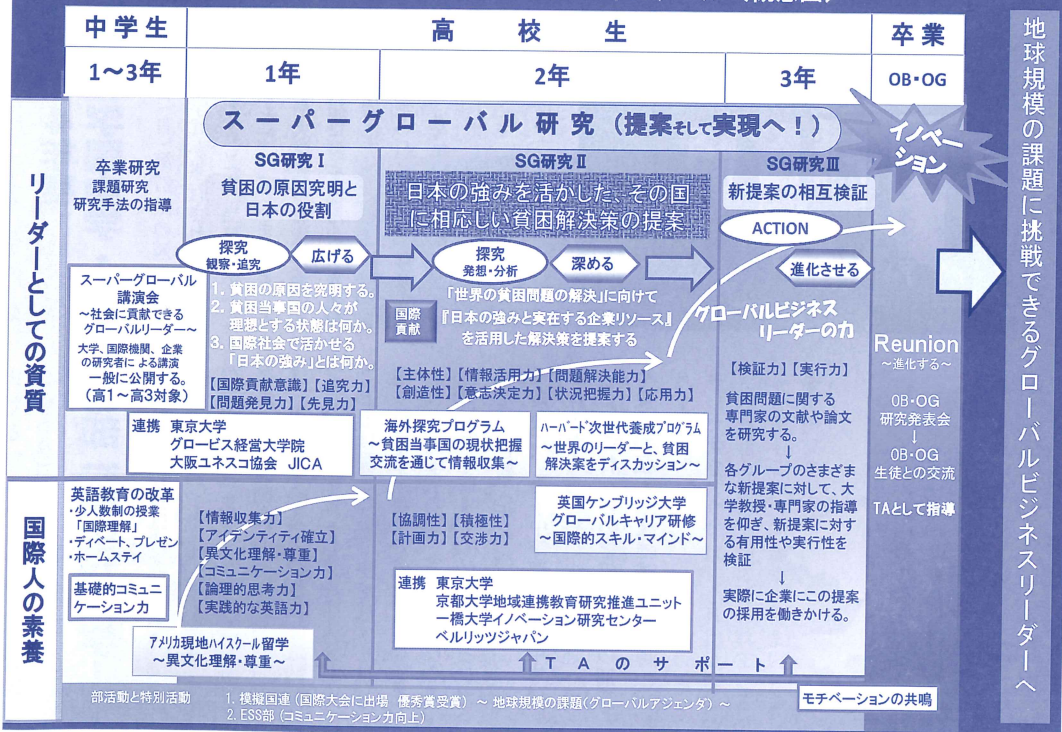


# スーパーグローバルハイスクール(SGH)事業

西大和学園は、平成26年度から文部科学省がスタートさせるスーパーグローバルハイスクール(SGH)事業の一期生として全国56校の中の1校に指定されました。SGHとは文部科学省の言葉を借りると「国際化を進める国内の大学を中心に、企業、国際機関等と連携を図り、グローバルな社会課題を発見・解決できる人材や、グローバルなビジネスで活躍できる人材の育成に取り組む高等学校」を指します。西大和学園がこれまで積み上げてきた国際教育の実績や今まさに取り組んでいるグローバルリーダーを育成しようとする教育が一定の評価を受けたものだと思います。今後は、東京大学、一橋大学、京都大学、大阪大学など日本を代表する大学や、ユネスコ、JICAなどの国際機関、そしてマイクロソフト、アメリカンエクスプレスなどグローバルな展開をしている企業の協力を得て、地球規模の課題に挑戦できるグローバルビジネスリーダーを育成する教育プログラムを開発し実践して参ります。

13年目を迎えるスーパーサイエンスハイスクール(SSH)だけではなくSGHが加わることで、教育の幅が大きく広がります。たとえば、大学の研究室で光合成について研究している生徒の友人がユネスコと協力して貧困問題の解決策を考えている。西大和学園では、文系理系に関係なく様々な教育を受けることができます。しかも中学高校時代からそれぞれの分野における一流の人物や最先端の研究に接することができるのです。難関大学合格の向こうを見据えて、大学入学後や社会に出てからも伸びる人材を育成するためにSGHの指定を最大限に活用したいと思えます。

西大和学園スーパーグローバルハイスクール(概念図)



# 大志を、 まえを、



大和大学 学長  
田野瀬 良太郎  
(西大和学園創始者)

【略歴】 大学時代1年間アルバイトをしながら、ロシアからヨーロッパ、中近東、東南アジア等33カ国を歴訪。これを機に政治の道を志し、昭和48年市議会議員初当選。その後、県会議員、衆議院議員に当選し、自治政務次官、財務副大臣、自民党文部科学部会長、自民党三役、総務会長等を務める。議員活動を始め、まもなく、教育は政治上の最重要課題であると痛感し、実践として昭和56年なかよし保育園を開園、西大和学園高等学校、西大和学園中学校、西大和学園カリフォルニア校、白鳳女子短期大学を設立し、平成26年4月、西大和学園の集大成として大和大学を開学し、学長に就任予定。名古屋工業大学卒、築道4段。

**大和大学**  
Yamato University

キャンパス / 大阪府吹田市片山町2-5-1 TEL / 06-6385-8010  
詳しくは **大和大学** 検索 <http://yamato-u.jp>

大和大学は、西大和学園が  
総力をあげて今春設立する  
まったく新しい大学です。

はじめまして。私は、2014年4月吹田市に開学する「大和大学」です。まだあまり知られていない大学ですが、「西大和学園」と言えば、「ご存知の方も多いかもしません。毎年、国内の超難関大学へ数多くの進学実績を残すこの「西大和学園」が、「大和大学」の母体です。学校法人西大和学園は、設立当初から「この学園を総合学園にしたい」という大きな夢を持っていました。約30年前の中学・高等学校設立から、幼小中の教育を行う西大和学園カリフォルニア校、白鳳女子短期大学と、一つひとつ着実に夢を現実のものにしてきました。そして今春、これまで培ってきた経験すべてを結集し、満を持して、4年制の大学を設立します。大和は、「日本の原点。この大学を、ゆくゆくは日本を代表する大学にしたい」という思いを込めて、大和大学と名付けました。

目指すは、「大総合大学」。  
まずは「教育と「保健医療」の  
2学部からスタートします。

大和大学は、まずは2学部体制でスタートします。「教育」ということに関しては、私たちは西大和学園において、小・中・高の若い教員を数多く養成してきました。「教育」は私たちの得意分野です。これまでの経験とノウハウを十分に活かして、独自の教育学部をくりあげようと考えています。また、「保健医療」に関しても、白鳳女子短期大学での経験とノウハウを活かし、3年制での実践教育を4年制にスケールアップして、より充実した学びを提供していこうと考えています。「教育」と「保健医療」は、これからの日本社会において、非常に重要で、優秀な人材が求められる分野です。少子高齢化が進む日本において、いかに若い力を育てるか、いかに高齢者の健康を、命を守るか、今後ますます社会から求められる、この2学部で確かな実績を残し、近い将来「大総合大学へと発展させていこう」と考えています。

培ってきた経験と  
教育力を結集し一人ひとりの  
目標を実現します。

2学部とも、資格・採用試験の合格のための体制を徹底的に整備します。この分野において社会で活躍するためには、試験の合格は必須条件。万全の教育力とサポート体制で、みなさんの夢の実現を強力にサポートします。また、大和大学は、グローバルな視野での教育にも力を入れていきます。西大和学園カリフォルニア校内の西大和学園海外教育センター(サンゼルス)では、現地の教育・医療施設の情報をタイムリーにキャッチし、大和大学の海外留学や研修をプロデュースします。

9分。最寄り駅からキャンパスまでは、徒歩約5分。何よりも通いやすいことを第一にこの場所を選びました。またこのJR吹田駅周辺は、学生にとっても非常に住みやすい街です。近隣大学の学生が行き交い、便利で、緑も多い。充実したキャンパスライフを約束できる立地だと考えています。

スローガンは「大志を、まええ。」  
ともに夢を追いかきましょう。

このスローガンは、職員である私たちにも向けられています。学生には、常に大きな夢と目標を持ち、そこに向かって歩み続ける人間になしてほしい。私たち職員も大きな夢と目標を持っていきます。私たちの夢は、大和大学を「大総合大学」と発展させることです。そして、東の早稲、西の大和とまで言われるような「日本を代表する大学へと成長させていく」ことです。

大阪都心すぐ  
JR大阪駅から9分、吹田駅前  
今春開学

## 平成25年度 SSHのまとめ

今年度もスーパーサイエンスハイスクール（SSH）として様々な活動を行いました。昨年12月22日に行われた生徒研究発表会では、7月から8月にかけて実施したNAISTラボステイと京大ラボステイでの成果を発表しました。質疑応答も多数あり、活発な議論が繰り広げられました。そして、3月15日に行われた平成25年度奈良SSHフェスティバルでも本校から計4班が発表しました。その中でスーパーサイエンスジュニア（SSJ）として活動を行った中学生も1班発表を行い、様々な質問に対して答える様は、高校生と遜色なく、次代に期待をもてる内容となりました。

その他の活動では、サイエンスリサーチクラブ（SRC）が研究活動として、日本動物学会岡山大会にて発表し、約50組の発表の中から2年連続で優秀賞を受賞しました。

そして3年連続で奈良県予選を勝ち抜き、3月に行われます科学の甲子園全国大会へと駒を進めています。また、第1回科学の甲子園ジュニアや第13回日本情報オリンピックにも出場



し、ケンブリッジ数学プログラムにも参加するなど、様々な方向への可能性を示唆してくれました。

来年度もますます活動を深め、幅を広げ、西大和学園のSSHは進化していきます。これからも目が離せません。

## 西大和学園カリフォルニア校 近況報告



information

西大和学園カリフォルニア校校長 西川 勝行

西大和学園 振興会会員の皆様、こんにちは。西大和学園カリフォルニア校の校長を勤めております西川勝行と申します。高1アメリカホームステイプログラムならびに中3語学研修では、米国内の研修の企画をさせていただいております。

西大和学園カリフォルニア校もこのロサンゼルス日本人コミュニティでは、知らない人がいないまでに成長し、当地における日本人教育の一翼を担っております。それでは私たちの学校、NAC (Nishiyama Academy of California) について紹介いたします。創立22年目のアメリカ西海岸唯一の文部科学省認定の「私立全日制日本人学校」です。学校があるのはロサンゼルス郊外のロミタ市というところで、この地域は日本人がとても多く在校生のほとんどがこの地域の日系企業の駐在員の子供たちです。幼稚園、小学校、中学校の13学年で約150人の子供たちが在籍しております。また2002年に開校した土曜補習校もこの4月には560人になり全日制、土曜補習校合わせ700名を越える大所帯になり、学校全体が活気に満ち溢れています。土曜補習校とは、普段、アメリカの現地校に通って土曜日だけ日本語と日本の教育を受けるための学校で、駐在員と現地に永住している日本人及び日系人の子供たちがたくさん通って来ています。NACでは、子供たちの個性を伸ばし、豊かな人間性と感性を育み、思いやりのある真の国際人の育成を目指すことを教育目標として日々懸命に取り組んでおります。これからもこのカリフォルニアで日本の本校の皆さんに負けないようにがんばる子供たちを育てて行きたいと思っております。振興会の会員の皆様方には、今後とも暖かいご支援とご声援を賜りますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。



西大和学園カリフォルニア校  
TEL 310・325・7040  
<http://www.nacus.org/>



# 平成26年度 西大和学園

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜
1	火	1	木	1	日	1	火	1	金	1	月
	春期休業(4/1まで)		歯科検診		創立記念日		答案返却日		三者面談会(J1~H3) 最終下校17:00		
2	水	2	金	2	月	2	水	2	土	2	火
	始業式		4/29の代休		振替休日						
3	木	3	土	3	火	3	木	3	日	3	水
	校内オリエンテーション (J2-J3-H2-H3)		憲法記念日								文化祭準備(全日)
4	金	4	日	4	水	4	金	4	月	4	木
	身体測定(J2-J3-H2-H3)		みどりの日								
5	土	5	月	5	木	5	土	5	火	5	金
	高校入学式		こどもの日				成績確認日(放課後)				
6	日	6	火	6	金	6	日	6	水	6	土
	中学入学式		振替休日						夏期休業 (最終下校17:00) 閉寮(17:00)		文化祭
7	月	7	水	7	土	7	月	7	木	7	日
	4/6の代休		生徒総会(HR)				午前中授業(J2)				
8	火	8	木	8	日	8	火	8	金	8	月
	授業開始・三者面談 新入生オリエンテーション・身体測定(J1-H1)						富士登山(J2)				9/8の代休
9	水	9	金	9	月	9	水	9	土	9	火
	三者面談 宿泊オリエンテーション(J1)										午前(後片付け)・午後(授業)
10	木	10	土	10	火	10	木	10	日	10	水
							午前中授業(J1)				
11	金	11	日	11	水	11	金	11	月	11	木
	芸術鑑賞会 オペラ「夕鶴」						ファームステイ(J1男子) アルペンウォーク(J1女子)				
12	土	12	月	12	木	12	土	12	火	12	金
	編入生宿泊オリエンテーション(H1) 新入生歓迎フェスティバル(J1)						代休(J2)				
13	日	13	火	13	金	13	日	13	水	13	土
									完全休業		
14	月	14	水	14	土	14	月	14	木	14	日
							駅-カ-ル(H1) 代休(J1)				
15	火	15	木	15	日	15	火	15	金	15	水
											敬老の日
16	水	16	金	16	月	16	水	16	土	16	火
17	木	17	土	17	火	17	木	17	日	17	水
			育友会総会		定期考査一週間前内科検診⑩				開寮(17:00)		
18	金	18	日	18	水	18	金	18	月	18	木
	遠足								高校(特別補習)		
19	土	19	月	19	木	19	土	19	火	19	金
							高1会員の集い				
20	日	20	火	20	金	20	日	20	水	20	土
21	月	21	水	21	土	21	月	21	木	21	日
					高3会員の集い		海の日				
22	火	22	木	22	日	22	火	22	金	22	月
			体育祭準備								
23	水	23	金	23	月	23	水	23	土	23	火
					午前中授業						秋分の日
24	木	24	土	24	火	24	木	24	日	24	水
					一学期期末・前期中間考査						
25	金	25	日	25	水	25	金	25	月	25	木
									高校(特別補習) 中学(学年の取り組み)		
26	土	26	月	26	木	26	土	26	火	26	金
							中1会員の集い				
27	日	27	火	27	金	27	日	27	水	27	土
			体育祭								
28	月	28	水	28	土	28	月	28	木	28	日
			5/25の代休								
29	火	29	木	29	日	29	火	29	金	29	月
	昭和の日 登校										
30	水	30	金	30	月	30	水	30	土	30	火
					特別指導日						
		31	土			31	木	31	日		
							午前中授業・生徒集会・大掃除				
備 考		備 考		備 考		備 考		備 考		備 考	
クラブ紹介		自転車安全指導		ファームステイ保護者対象説明会(J1) 富士登山保護者対象説明会(J2) サマースクール保護者対象説明会(H1) ホームステイプログラム説明会(H1)		高校野球応援(H2)		ホームステイプログラム(H1)		県高校総体 語学研修旅行保護者対象説明会(J3)	

# 中・高等学校年間行事予定

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月	
日	行事予定	日	行事予定	日	行事予定	日	行事予定	日	行事予定	日	行事予定
1 水		1 土	↓ 海外探究旅行 語学研修旅行	1 月	定期考査一週間前	1 木	元日 冬期休業	1 日		1 日	高校卒業式・謝恩会
2 木		2 日	↓	2 火		2 金		2 月	↓	2 月	3月1日の代休
3 金		3 月	文化の日	3 水		3 土		3 火		3 火	
4 土		4 火		4 木		4 日		4 水		4 水	午前中授業
5 日		5 水		5 金		5 月	↓	5 木		5 木	後期期末考査
6 月	午前中授業	6 木		6 土	午前中授業	6 火	生徒集会	6 金		6 金	
7 火	二期期中間考査・前期期末考査	7 金		7 日		7 水	授業開始	7 土		7 土	
8 水		8 土		8 月	二期期末・後期中間考査	8 木		8 日		8 日	
9 木		9 日		9 火		9 金		9 月		9 月	
10 金		10 月		10 水		10 土		10 火		10 火	↓
11 土	高2会員の集い	11 火		11 木		11 日		11 水	建国記念の日	11 水	特別指導日
12 日		12 水		12 金	↓	12 月	成人の日	12 木		12 木	B校時・答案返却日
13 月	体育の日 スーパーサイエンスセミナー(H1)	13 木		13 土	特別指導日	13 火		13 金		13 金	
14 火	特別指導日	14 金		14 日		14 水		14 土		14 土	↓
15 水	代休	15 土		15 月	答案返却日	15 木		15 日		15 日	
16 木	特別校時・答案返却日 後期開始	16 日		16 火		16 金		16 月	↑	16 月	成績確認日(授業なし) 13:00生徒登校
17 金	答案返却日	17 月		17 水		17 土	大学入試センター試験(H3)	17 火		17 火	
18 土		18 火		18 木	↓	18 日	↓	18 水	中1スキースクール	18 水	中学卒業式予行
19 日		19 水		19 金	午前中授業・成績確認	19 月	自己採点日(H3)	19 木		19 木	中学卒業式・感謝の集い
20 月	語学研修旅行(J3)	20 木		20 土	午前中授業	20 火	代休	20 金		20 金	終業式
21 火	成績確認日(授業終了後)	21 金		21 日		21 水	午前中授業(H3)	21 土	↓	21 土	春分の日
22 水		22 土	中3会員の集い	22 月		22 木		22 日		22 日	
23 木		23 日	勤労感謝の日	23 火	天皇誕生日	23 金	↓	23 月		23 月	春期休業
24 金		24 月	振替休日	24 水	三者面談会	24 土		24 火	マラソン大会	24 火	
25 土	2会員の集い	25 火		25 木		25 日		25 水	定期考査一週間前	25 水	
26 日		26 水		26 金		26 月	三者面談会(H3)	26 木		26 木	
27 月	海外探究旅行(H1)	27 木		27 土	↓	27 火		27 金		27 金	
28 火		28 金		28 日		28 水	↓	28 土		28 土	高校卒業式予行
29 水		29 土		29 月	冬期休業	29 木				29 日	
30 木		30 日		30 火		30 金				30 月	
31 金	11/1(土)まで 11/1(土)まで			31 水		31 土				31 火	~3/31
備考		備考		備考		備考		備考		備考	
語学研修旅行(J3) 海外探求旅行(H1) 心の教育講演会 教職員人権教育研修会…上旬 球技大会…下旬				センターマラソン(H3) ……………下旬~1月上旬		国公立大学二次試験出願…下旬 内部進学説明会(J2) スキースクール保護者対象説明会(J1)		高校入試 私人協賛発表会…中旬 国公立大学前期試験…2/25-26 私立大学入学試験…2~3月 スキースクール(J1) マラソン大会 海外探求旅行(H1)		国公立大学後期試験…中旬	